



Nikon  
100<sup>th</sup>  
anniversary

株式会社 ニコン

# 2018年3月期 第1四半期決算報告

2017年8月3日

- 本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスクおよび不確実性が含まれます。このため、今後様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく異なる場合があることをご承知おきください
- 本資料で使用している数値は、億円未満は切り捨ててあります

## 2018年3月期 Q1実績

- Q1営業利益は124億円と計画を上回って進捗
- 前年比ではFPD露光装置の販売台数減、一眼レフカメラ新製品のミックス変化などにより、56億円減益

## 2018年3月期 見通し

- Q1実績を踏まえて上期営業利益を110億円から170億円に上方修正
- 通期の事業環境見通しに大きな変化はなく、特に下期のカメラ市場の見通しを慎重に置き、通期の営業利益・当期利益の想定は据え置く

## 構造改革 の状況

- 半導体装置事業：黒字化の定着に向けた施策を実行中
- 映像事業：収益モデル強化に向けて、徹底的にコスト構造見直し中
- 経営体質改善：ROICを軸に社長から現場までの繋がりを強化

# 2018年3月期 Q1：連結売上収益・損益



単位：億円	17年3月期 Q1実績	18年3月期 Q1実績	前年 実績比
<b>売上収益</b>	<b>1,693</b>	<b>1,703</b>	<b>+10</b>
<b>営業利益</b>	<b>180</b>	<b>124</b>	<b>▲56</b>
売上収益比	10.6%	7.3%	
<b>税引前利益</b>	<b>184</b>	<b>131</b>	<b>▲53</b>
売上収益比	10.9%	7.7%	
<b>当期利益</b> (親会社の所有者に帰属)	<b>146</b>	<b>88</b>	<b>▲58</b>
売上収益比	8.6%	5.2%	
<b>FCF</b>	<b>▲17</b>	<b>▲97</b>	<b>▲80</b>
為替：USドル ユーロ	<b>108円</b>	<b>111円</b>	売上収益への影響 <b>+16</b>
	<b>122円</b>	<b>122円</b>	営業利益への影響 <b>▲3</b>

Q1実績は計画を上回って進捗 上期見通しを上方修正

# 2018年3月期 Q1：セグメント別業績



単位：億円		17年3月期 Q1実績	18年3月期 Q1実績	前年 実績比
精機事業	売上収益	518	552	+7%
	営業利益	148	131	▲17億円
映像事業	売上収益	944	909	▲4%
	営業利益	101	76	▲25億円
インストルメンツ事業	売上収益	134	135	+1%
	営業利益	▲12	▲24	▲12億円
メディカル事業	売上収益	42	47	+12%
	営業利益	▲6	▲11	▲5億円
その他	売上収益	53	58	+9%
	営業利益	10	9	▲1億円
各セグメントに配賦 されない全社損益	売上収益	—	—	—
	営業利益	▲61	▲57	+4億円
連結	売上収益	1,693	1,703	+1%
	営業利益	180	124	▲56億円

精機・映像・メディカル事業の営業損益は計画を上回って推移

注：2017年3月期、2018年3月期ともに国際会計基準（IFRS）で表示。「各セグメントに配賦されない全社損益」はセグメント間取引額消去を含めて表示

単位：億円	17年3月期 Q1実績	18年3月期 Q1実績	前年 実績比
売上収益	518	552	+34
営業利益	148	131	▲17
売上収益比	28.6%	23.7%	
半導体露光装置 新品／中古	2/4台	5/0台	+3/▲4台
FPD露光装置	27台	21台	▲6台

### Q1前年比：

- 半導体装置事業のArF液浸及びArFドライの販売台数増加が増収に寄与
- FPD装置事業の6世代の販売台数が減少したことにより減益

単位：億円	17年3月期 Q1実績	18年3月期 Q1実績	前年 実績比
売上収益	944	909	▲35
営業利益	101	76	▲25
売上収益比	10.7%	8.4%	
レンズ交換式 デジタルカメラ	71万台	72万台	+1万台
交換レンズ	103万本	108万本	+5万本
コンパクト デジタルカメラ	84万台	77万台	▲7万台

### Q1前年比：

- 一眼レフカメラ新製品のミックス変化により減益（計画は上回って進捗）  
前期の主な投入機種：D5、D500 当期の主な投入機種：D7500
- 米国における積極的なマーケティングなどが功を奏し、販売台数は増加

単位：億円	17年3月期 Q1実績	18年3月期 Q1実績	前年 実績比
売上収益	134	135	+1
営業利益	▲12	▲24	▲12
売上収益比	▲9.0%	▲17.8%	

### Q1前年比：

- マイクロスコープ・ソリューション事業は、再生医療関連への先行投資が増加して減益
- 産業機器事業は、競争力のある製品（画像測定システム、工業顕微鏡、X線検査装置）の下期以降の販売拡大や開発強化に向けた経費増加等で減益

単位：億円	17年3月期 Q1実績	18年3月期 Q1実績	前年 実績比
売上収益	42	47	+5
営業利益	▲6	▲11	▲5
売上収益比	▲14.3%	▲23.4%	

### Q1前年比：

- 英国Optos社の業績は米国の検眼医市場（トップシェア）を中心に堅調に推移
- 米国Verily社との戦略的提携によるMachine Learningを活用した網膜診断システムの開発投資が増加



2018年3月期  
上期見通し

- **Q1実績を踏まえ、全社の売上収益を30億円、営業利益を60億円上方修正**
  - **精機事業**：半導体装置事業の収益改善により営業利益を20億円上方修正
  - **映像事業**：Q1販売台数増等を踏まえ売上収益を50億円、営業利益を30億円上方修正
  - **インストルメンツ事業**：政府予算執行遅延等により売上収益を20億円、営業利益を10億円下方修正

2018年3月期  
通期見通し

- **全社見通しは据え置く**
  - **精機事業**：通期見通しは据え置く
  - **映像事業**：通期での市場・シェア前提に変化なく、さらに下期市場の不透明感も考慮し、通期見通しは据え置く
  - **インストルメンツ事業**：下期の需要回復を見込み、通期見通しは据え置く

# 2018年3月期 通期見通し：連結売上高・損益



単位：億円	17年3月期 実績	前回予想 (期初時点)	今回予想 (Q1時点)	前年 実績比	前回 予想比
<b>売上収益</b>	<b>7,492</b>	<b>7,000</b>	<b>7,000</b>	<b>▲492</b>	<b>±0</b>
<b>営業利益</b>	<b>7</b>	<b>450</b>	<b>450</b>	<b>+443</b>	<b>±0</b>
売上収益比	0.1%	6.4%	6.4%		
<b>税引前利益</b>	<b>30</b>	<b>470</b>	<b>470</b>	<b>+440</b>	<b>±0</b>
売上収益比	0.4%	6.7%	6.7%		
<b>当期利益</b> (親会社の所有者に帰属)	<b>39</b>	<b>340</b>	<b>340</b>	<b>+301</b>	<b>±0</b>
売上収益比	0.5%	4.9%	4.9%		
<b>FCF</b>	<b>566</b>	<b>250</b>	<b>250</b>	<b>▲316</b>	<b>±0</b>
<b>為替：USドル</b>	<b>108円</b>	<b>110円</b>	<b>110円</b>	売上収益への予想影響額 +62億円   +12億円	
<b>ユーロ</b>	<b>119円</b>	<b>120円</b>	<b>121円</b>	営業利益への予想影響額 +9億円   ほぼゼロ	

中間配当金・年間配当金ともに未定

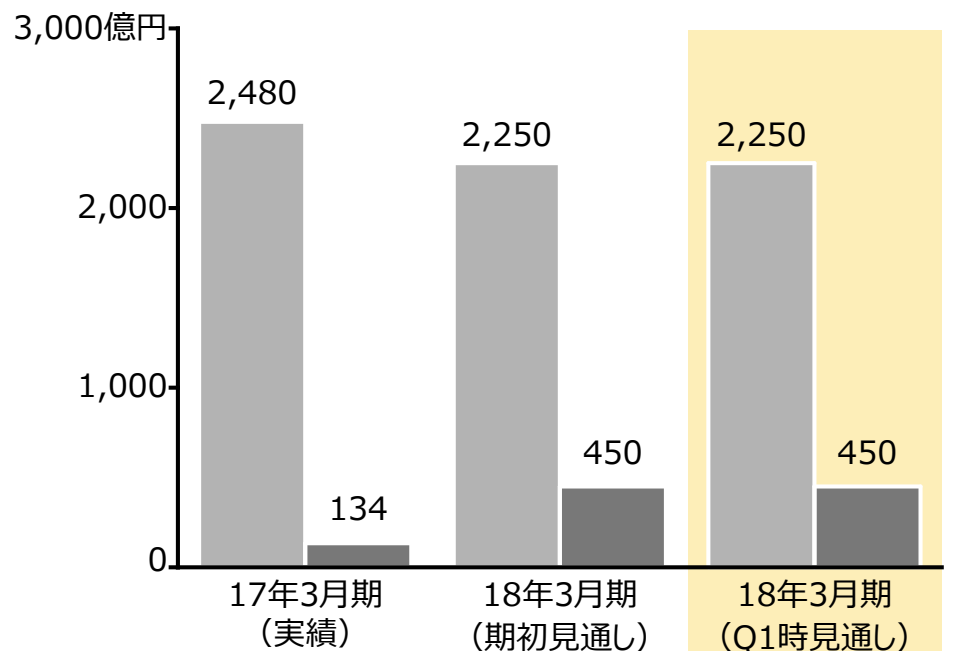
# 2018年3月期 通期見通し：セグメント別業績



単位：億円		17年3月期 実績	前回予想 (期初時点)	今回予想 (Q1時点)	前年 実績比	前回 予想比
精機事業	売上収益	2,480	2,250	<b>2,250</b>	▲9%	±0%
	営業利益	134	450	<b>450</b>	+316億円	±0億円
映像事業	売上収益	3,830	3,450	<b>3,450</b>	▲10%	±0%
	営業利益	171	270	<b>270</b>	+99億円	±0億円
インストルメンツ 事業	売上収益	734	800	<b>800</b>	+9%	±0%
	営業利益	12	30	<b>30</b>	+18億円	±0億円
メディカル事業	売上収益	202	210	<b>210</b>	+4%	±0%
	営業利益	▲15	▲60	<b>▲60</b>	▲45億円	±0億円
その他	売上収益	244	290	<b>290</b>	+19%	±0%
	営業利益	33	40	<b>40</b>	+7億円	±0億円
各セグメントに配賦 されない全社損益	売上収益	—	—	—	—	—
	営業利益	▲329	▲280	<b>▲280</b>	+49億円	±0億円
連結	売上収益	7,492	7,000	<b>7,000</b>	▲7%	±0%
	営業利益	7	450	<b>450</b>	+443億円	±0億円

注：2017年3月期、2018年3月期ともに国際会計基準（IFRS）で表示。「各セグメントに配賦されない全社損益」はセグメント間取引額消去を含めて表示

売上収益・営業利益口



## 半導体露光装置販売台数 (新品/中古、台)

市場規模 (CY16/17)	17年3月期 (実績)	18年3月期 (期初見通し)	18年3月期 (Q1時見通し)
市場規模 (CY16/17)	210	210	210
ニコン	24/11	17/10	17/10

## FPD露光装置販売台数 (台)

市場規模 (CY16/17)	17年3月期 (実績)	18年3月期 (期初見通し)	18年3月期 (Q1時見通し)
市場規模 (CY16/17)	128	150	150
ニコン	92	68	68

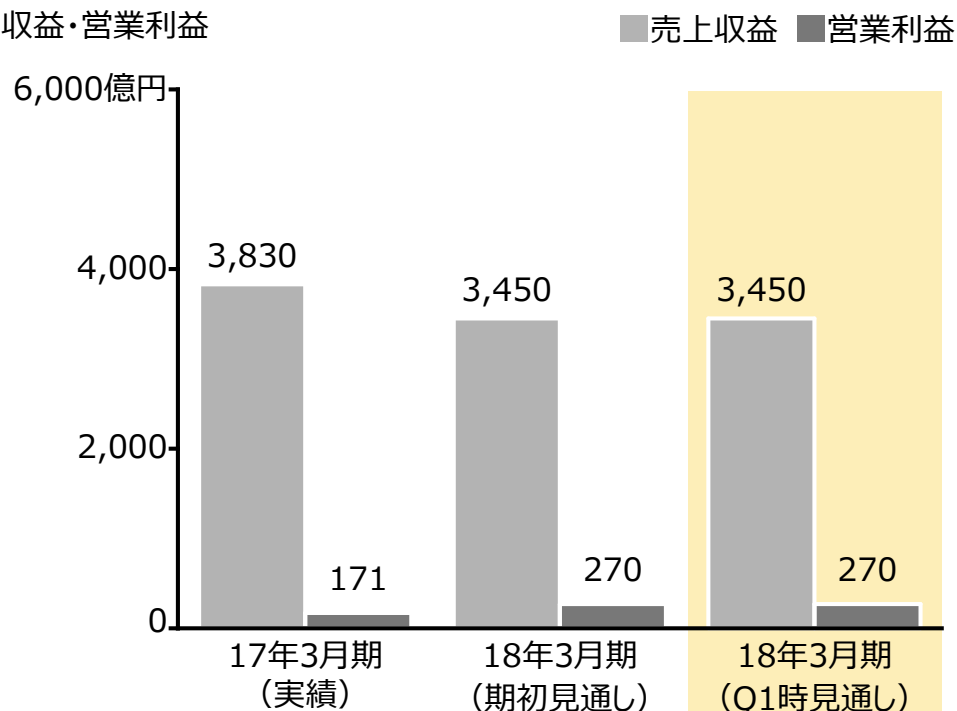
## • 売上収益：前回予想据え置き 前年比230億円減収

- FPD：台数減少にともない減収
  - ▶ 中小型パネル向けの 新規ライン投資が減少
  - ▶ 大型パネル向けの 新規ライン投資が本格化 (G10.5装置は3台予定)
- IFRS移行に伴い、半導体装置事業の 前期売上収益が4億円増加

## • 営業利益：前回予想据え置き 前年比316億円増益

- 日本基準での前期営業利益は510億円 (主な基準差異：構造改革関連費用、減損損失)
- FPD：減収影響に加え、製品ミックスの変化により減益
- 半導体：黒字化達成を見込む

売上収益・営業利益



● **売上収益：前回予想据え置き  
前年比380億円の減収**

- カメラ市場の縮小が継続、各カテゴリで販売台数減少

● **営業利益：前回予想据え置き  
前年比99億円の増益**

- 日本基準での前期営業利益は277億円（主な基準差異：構造改革関連費用、減損損失）
- 構造改革による固定費削減、及び高付加価値製品への注力により、台数減の減益影響をほぼカバー
- 前回予想比、上期上振れだが、下期の市場不透明も考慮し、通期見通しは据え置き

**レンズ交換式デジタルカメラ (万台)**

市場規模	1,177	1,070	1,070
ニコン	310	250	250

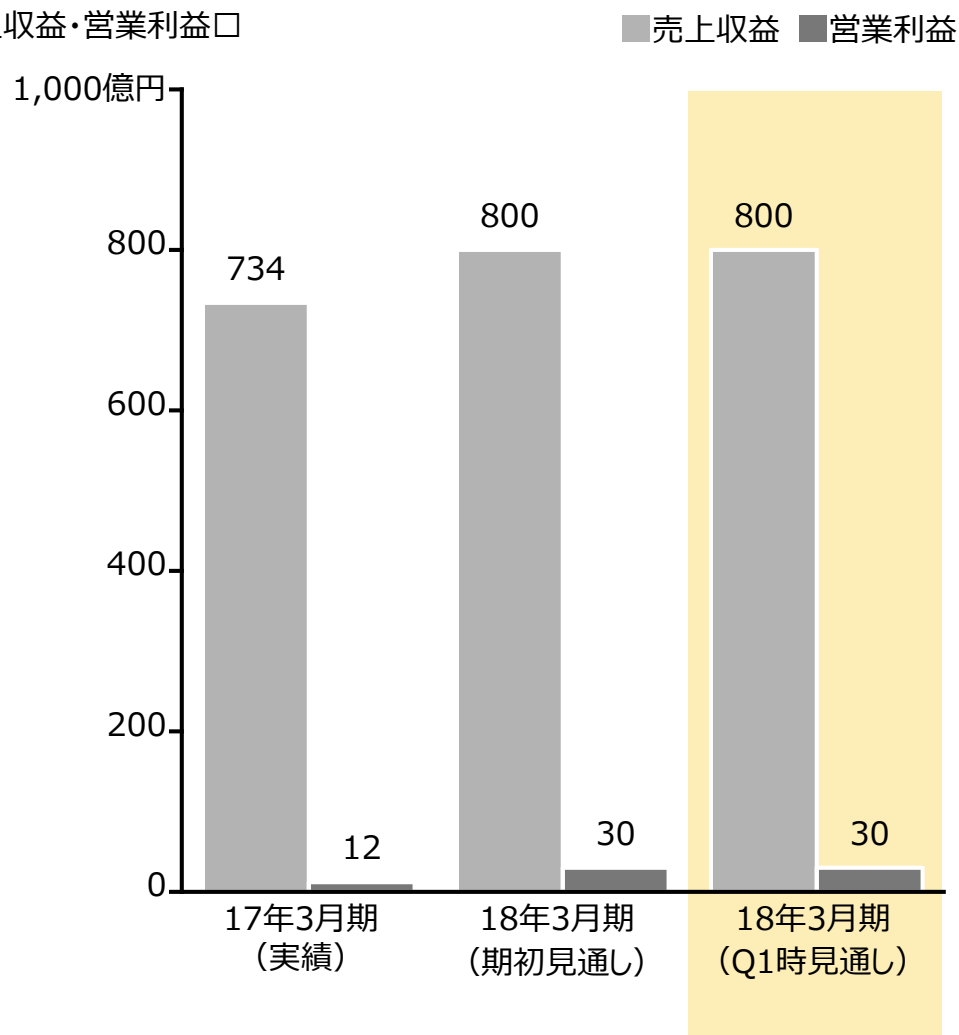
**交換レンズ (万本)**

市場規模	1,920	1,800	1,800
ニコン	462	370	370

**コンパクトデジタルカメラ (万台)**

市場規模	1,260	1,040	1,040
ニコン	319	230	230

売上収益・営業利益口



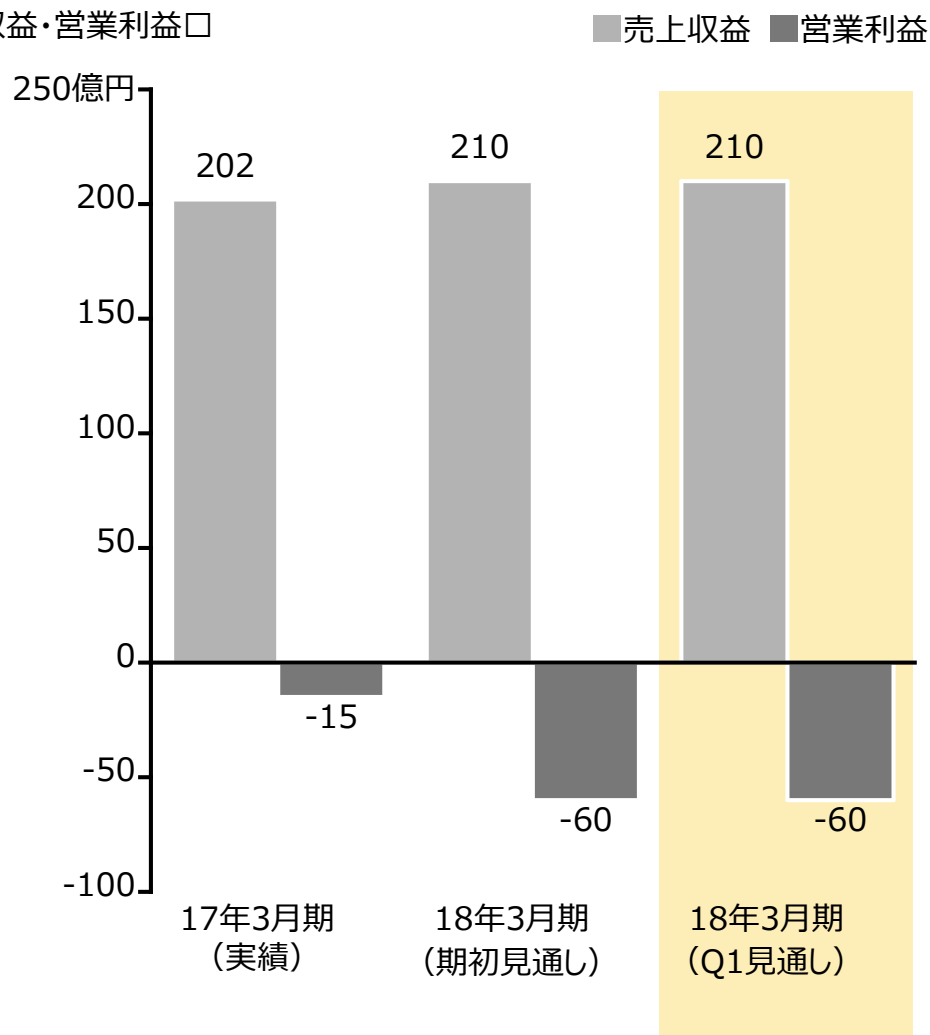
## • 売上収益：前回予想据え置き 前年比66億円増収

- MS：生物顕微鏡のシェア拡大による販売増
  - ▶ 再生医療関連で売上計上も、利益貢献までには時間が必要
- 産業機器：自動車関連や半導体検査装置などの販売拡大

## • 営業利益：前回予想据え置き 前年比18億円増益

- 日本基準での前期営業利益は3億円（主な基準差異：のれん非償却）
- 前回予想比、上期下振れだが、下期の需要回復を見込み、通期見通しは据え置き

売上収益・営業利益口



## • 売上収益：前回予想据え置き 前年比8億円増収

- 眼底カメラ事業は市場の成長とともに堅調に推移

## • 営業利益：前回予想据え置き

- 日本基準での前期営業利益は-45億円（主な基準差異：のれん非償却、開発費資産化）
- 眼科診断領域でのビジネス拡大に向けた投資が一時的に拡大
- 来期以降、極力早い時期での黒字化に向け、収益を改善させる計画



*Nikon* (th)  
*100*  
*anniversary*

**NIKON CORPORATION**



# 參考資料

# 2018年3月期 通期見通し：連結売上収益・損益



単位：億円	前回予想			今回予想		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
<b>売上収益</b>	3,280	3,720	7,000	<b>3,310</b>	<b>3,690</b>	<b>7,000</b>
<b>営業利益</b>	110	340	450	<b>170</b>	<b>280</b>	<b>450</b>
売上収益比	3.4%	9.1%	6.4%	5.1%	7.6%	6.4%
<b>税引前利益</b>	120	350	470	<b>180</b>	<b>290</b>	<b>470</b>
売上収益比	3.7%	9.4%	6.7%	5.4%	7.9%	6.7%
<b>当期利益</b> (親会社の所有者に帰属)	60	280	340	<b>130</b>	<b>210</b>	<b>340</b>
売上収益比	1.8%	7.5%	4.9%	3.9%	5.7%	4.9%
<b>FCF</b>	250			250		
為替：USドル ユーロ	110円 120円			110円 121円		

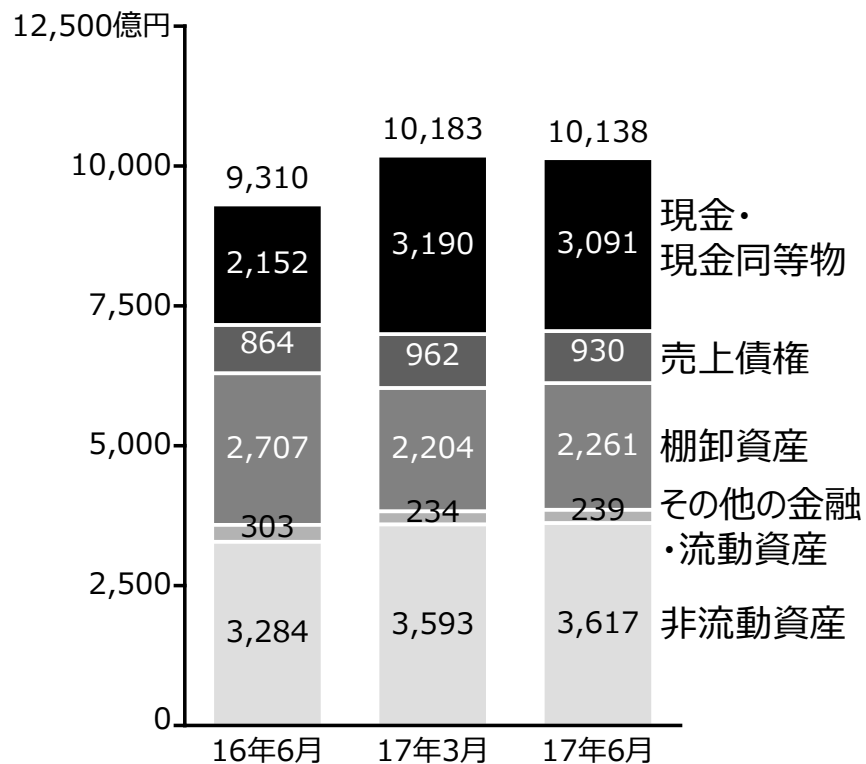
# 2018年3月期 通期見通し：セグメント別業績



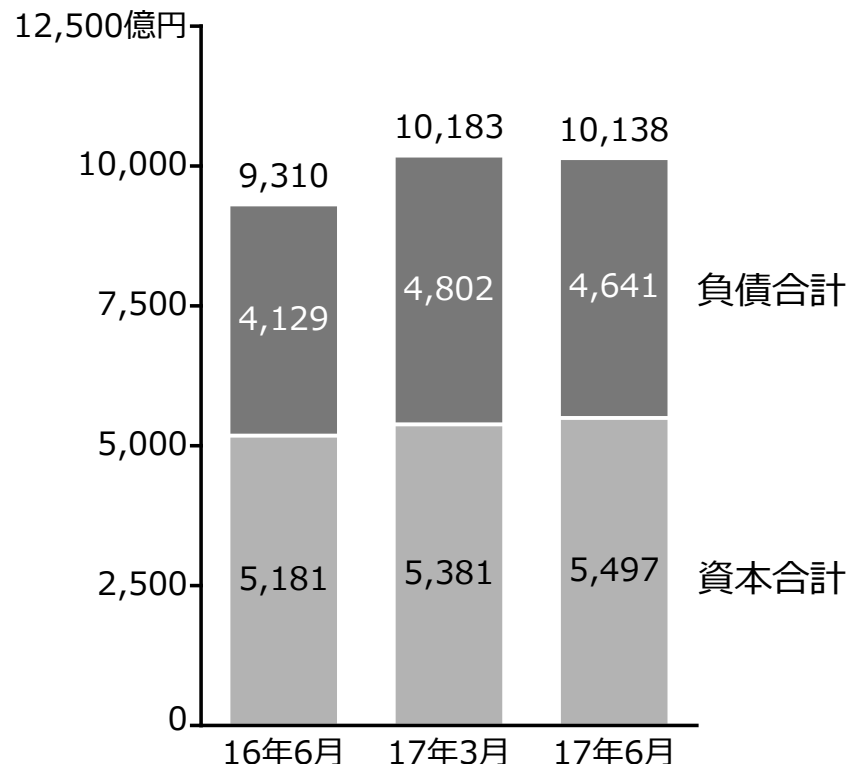
単位：億円		前回予想			今回予想		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期
精機事業	売上収益	1,000	1,250	2,250	<b>1,000</b>	<b>1,250</b>	<b>2,250</b>
	営業利益	170	280	450	<b>190</b>	<b>260</b>	<b>450</b>
映像事業	売上収益	1,700	1,750	3,450	<b>1,750</b>	<b>1,700</b>	<b>3,450</b>
	営業利益	100	170	270	<b>130</b>	<b>140</b>	<b>270</b>
インストルメンツ事業	売上収益	340	460	800	<b>320</b>	<b>480</b>	<b>800</b>
	営業利益	±0	30	30	<b>▲10</b>	<b>40</b>	<b>30</b>
メディカル事業	売上収益	100	110	210	<b>100</b>	<b>110</b>	<b>210</b>
	営業利益	▲30	▲30	▲60	<b>▲30</b>	<b>▲30</b>	<b>▲60</b>
その他	売上収益	140	150	290	<b>140</b>	<b>150</b>	<b>290</b>
	営業利益	20	20	40	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>40</b>
各セグメントに配賦されない 全社損益	売上収益	—	—	—	—	—	—
	営業利益	▲150	▲130	▲280	<b>▲130</b>	<b>▲150</b>	<b>▲280</b>
連結	売上収益	3,280	3,720	7,000	<b>3,310</b>	<b>3,690</b>	<b>7,000</b>
	営業利益	110	340	450	<b>170</b>	<b>280</b>	<b>450</b>

注：2017年3月期、2018年3月期ともに国際会計基準（IFRS）で表示。「各セグメントに配賦されない全社損益」はセグメント間取引額消去を含めて表示

## 資産



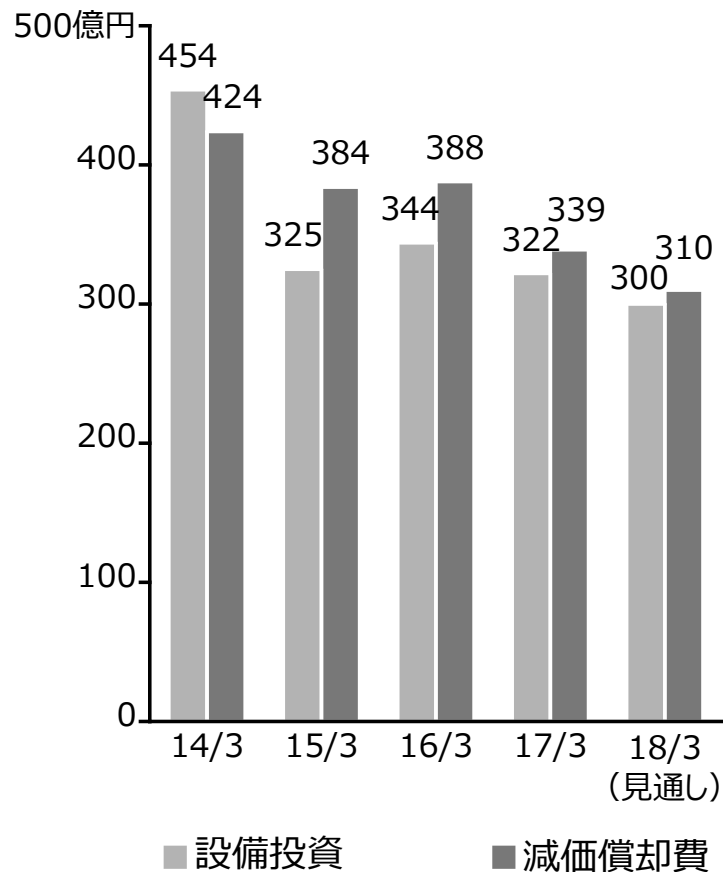
## 負債・資本



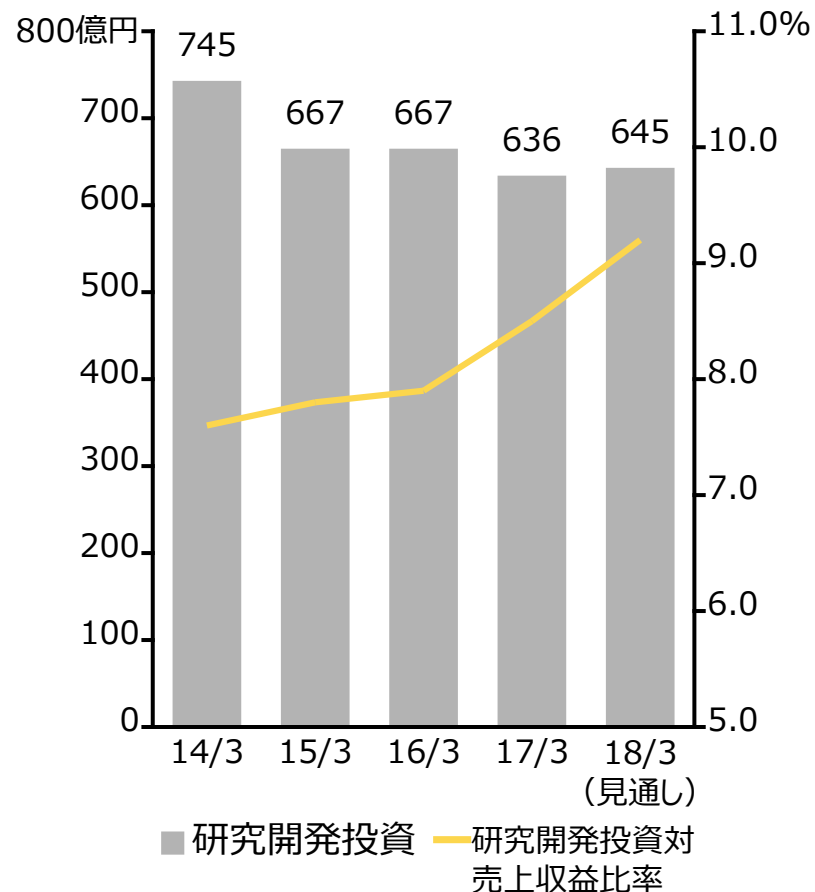
自己資本比率 55.6% 52.8% 54.2%

注: 自己資本比率 = 親会社所有者帰属持分比率。現金・現金同等物には3ヶ月超の定期預金残高を含めず表示

## 設備投資・減価償却費

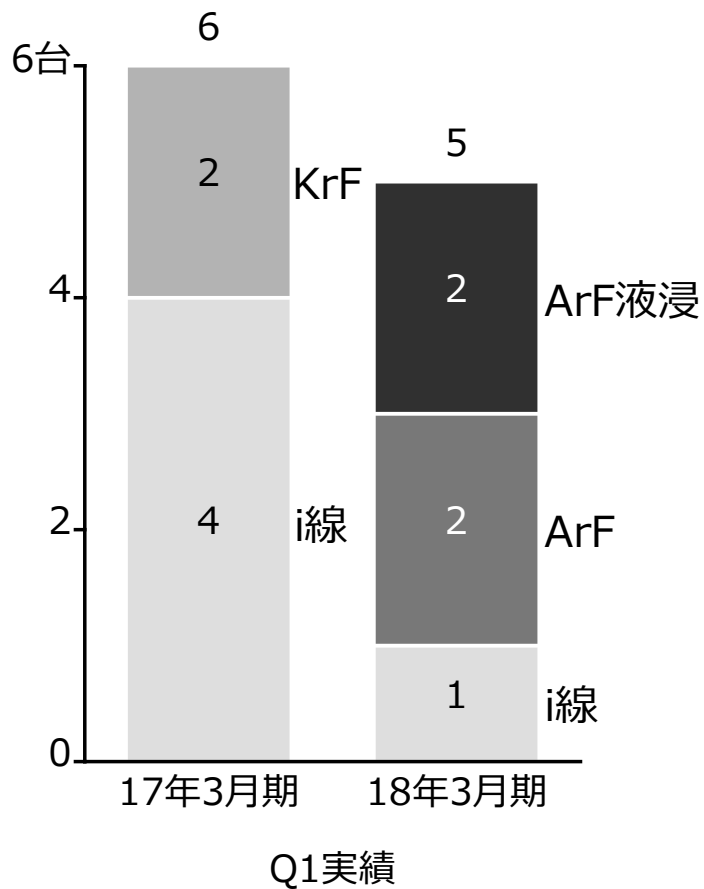


## 研究開発投資

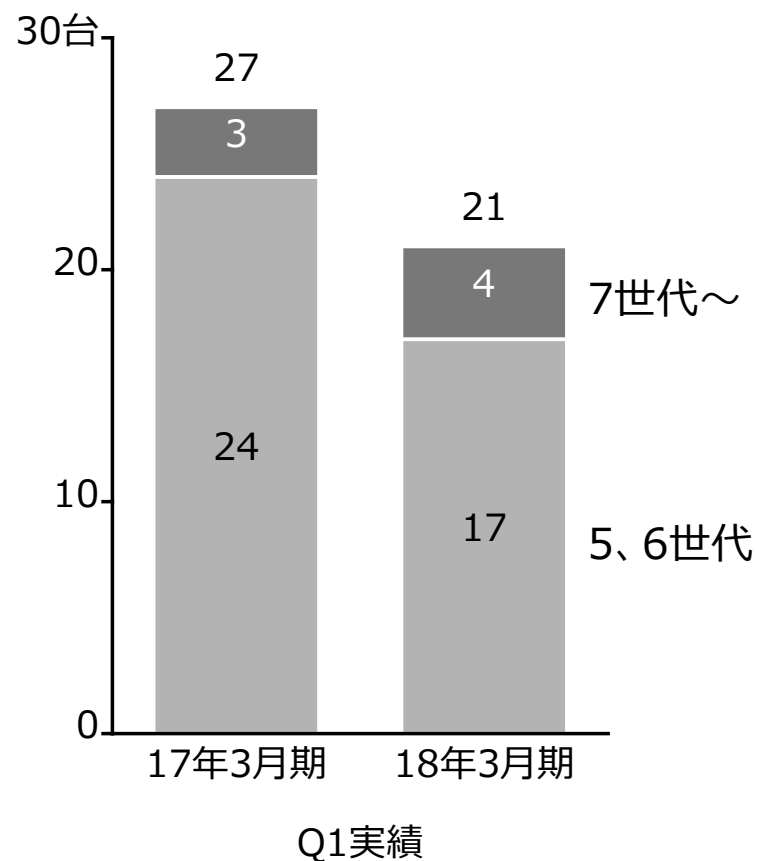


注：2015年3月期以前は日本基準、2016年3月期以降は国際会計基準（IFRS）で表示  
 「減価償却費」は、2015年3月期以降コングループの減価償却方法を定額法に統一、2016年3月期以降は仕掛開発費の償却も含めて表示  
 「研究開発投資」には、2016年3月期以降に行っている開発投資の一部資産化も含めて表示

### 半導体露光装置光源別販売台数 (中古含む)

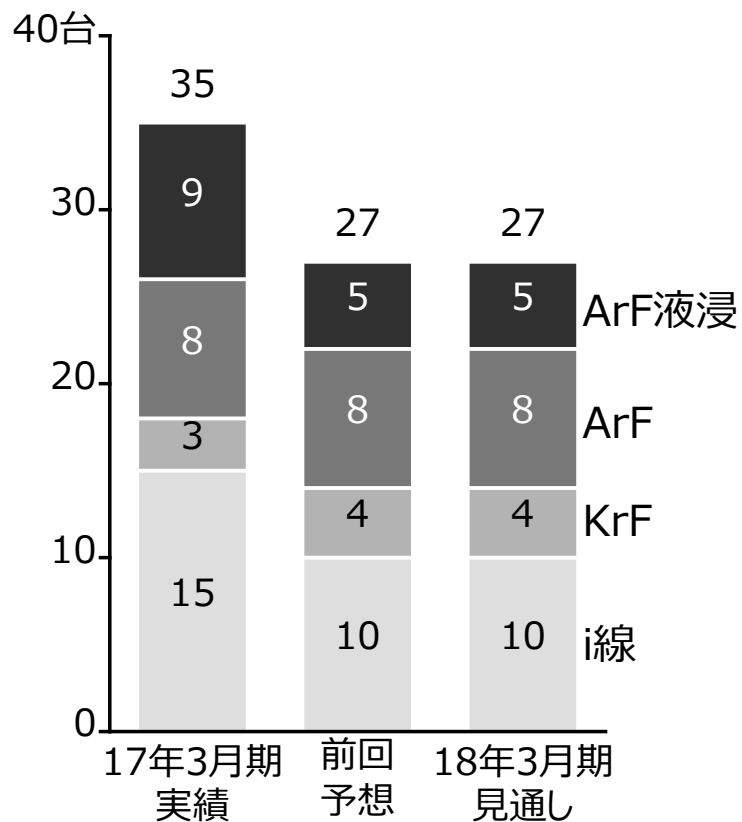


### FPD露光装置世代別販売台数

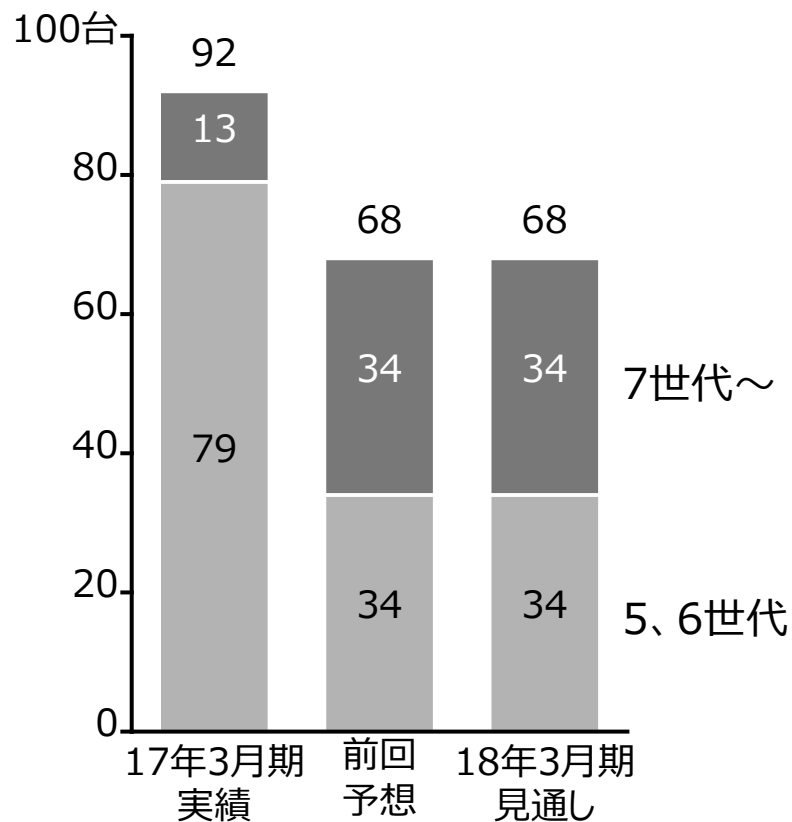


注：半導体露光装置の新品の台数は、2017年3月期は2台、2018年3月期は5台

### 半導体露光装置光源別販売台数 (中古含む)



### FPD露光装置世代別販売台数



注：半導体露光装置の新品の台数は、2017年3月期は24台、2018年3月期は17台

	為替レート	1円の変動による影響額	
	18年3月期 Q2~Q4前提	売上収益 Q2~Q4	営業利益 Q2~Q4
USドル	110円	約20億円	約2億円
ユーロ	120円	約7億円	約4億円

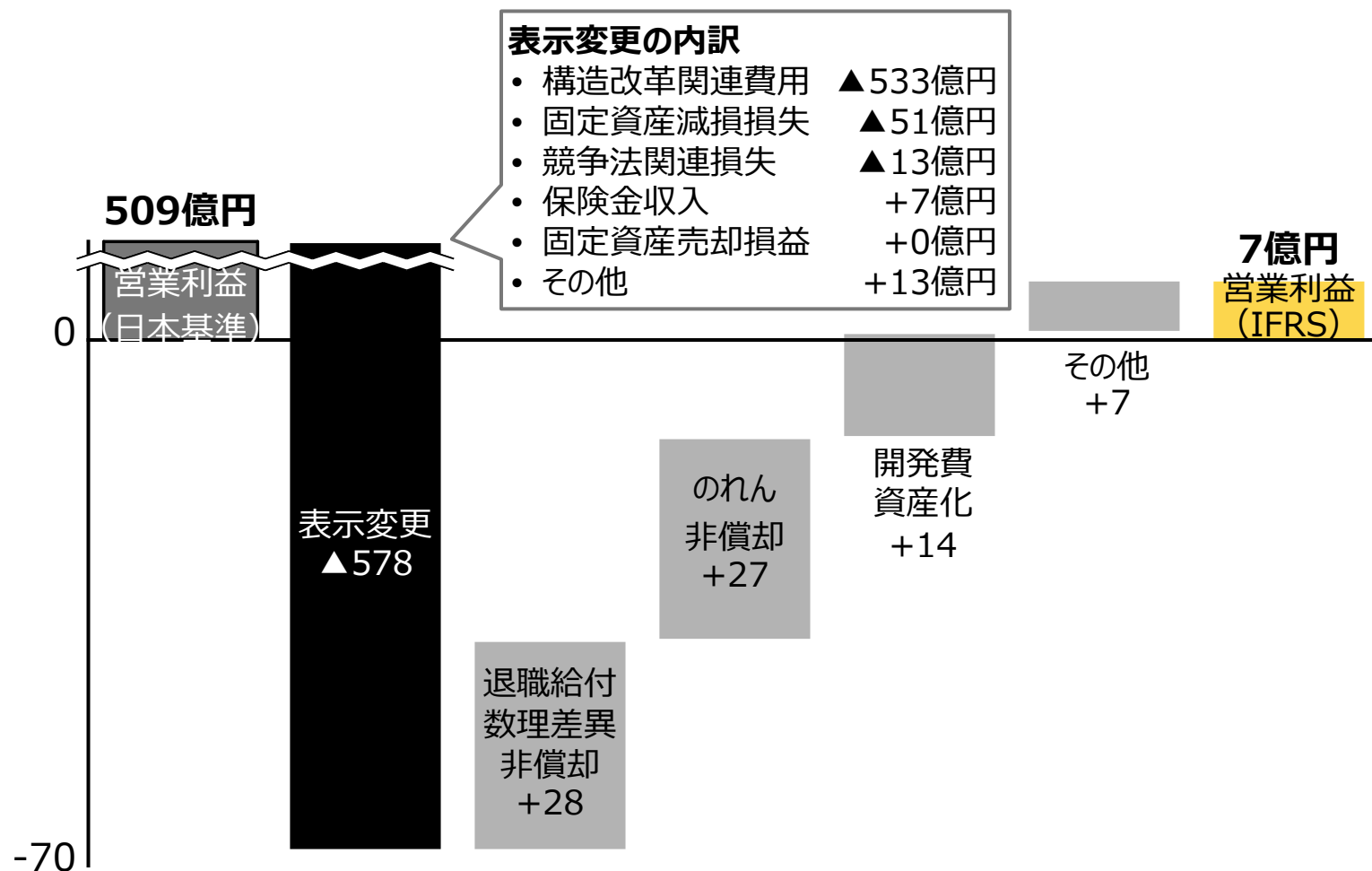


# 2017年3月期の日本基準とIFRSの比較



単位：億円	17年3月期 日本基準	17年3月期 IFRS	基準差異
<b>売上収益</b>	<b>7,488</b>	<b>7,492</b>	<b>+4</b>
<b>売上原価</b>	<b>4,439</b>	<b>4,431</b>	<b>▲8</b>
<b>粗利</b>	<b>3,049</b>	<b>3,061</b>	<b>+12</b>
<b>販管費</b>	<b>2,539</b>	<b>2,475</b>	<b>▲64</b>
売上収益比	33.9%	33.0%	-0.9P
<b>その他営業損益</b>		<b>▲577</b>	
<b>営業利益</b>	<b>509</b>	<b>7</b>	<b>▲502</b>
売上収益比	6.8%	0.1%	-6.7P
<b>金融損益</b>		<b>17</b>	
<b>営業外・特別損益</b>	<b>▲534</b>		<b>-</b>
<b>税引前利益</b>	<b>▲24</b>	<b>30</b>	<b>+54</b>
売上収益比	-	0.4%	-
<b>当期利益</b> (親会社の所有者に帰属)	<b>▲71</b>	<b>39</b>	<b>+110</b>
売上収益比	-	0.5%	-

# 2017年3月期の日本基準とIFRSの比較（全社営業利益）

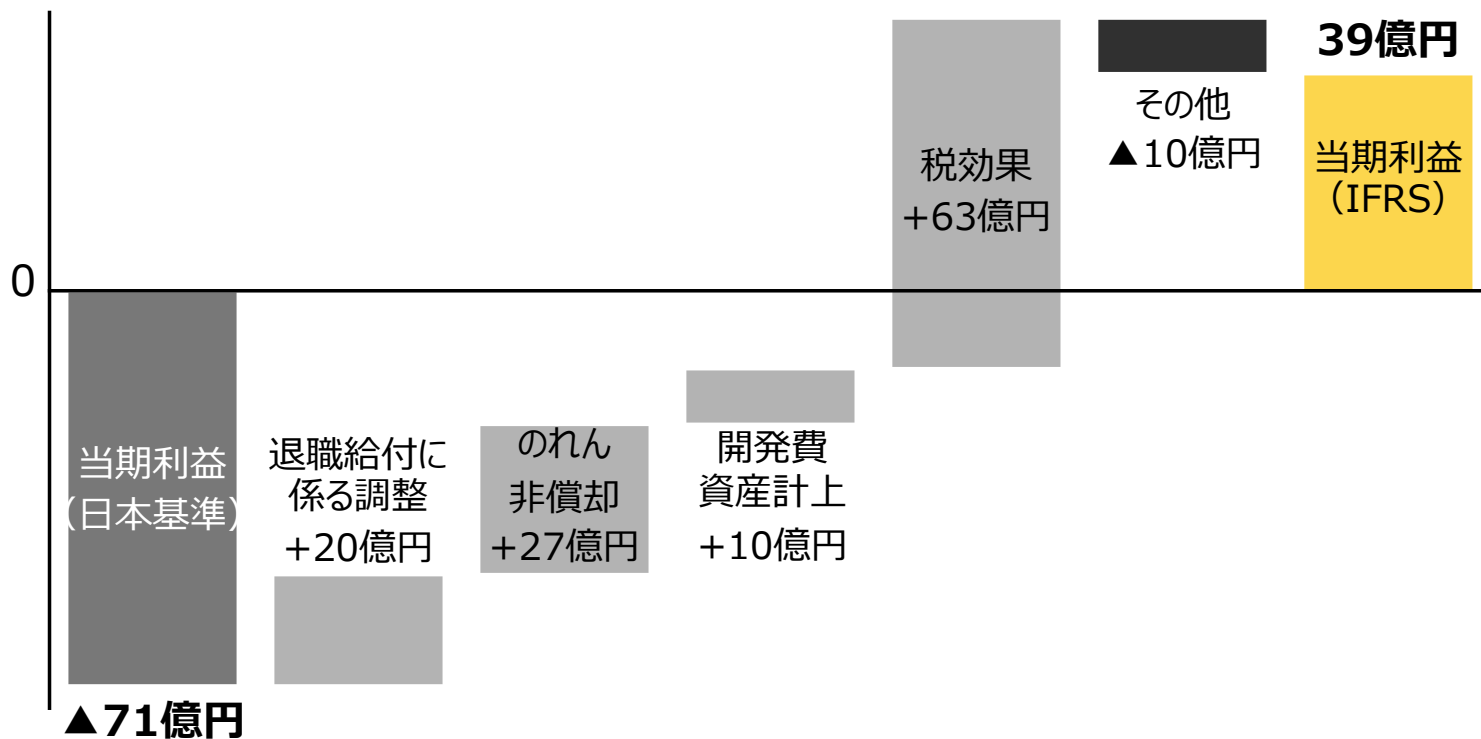


# 2017年3月期の日本基準とIFRSの比較 (セグメント別営業利益)



単位：億円	営業利益 日本基準	表示科目 変更	退職給付 数理差異 非償却	のれん 非償却	開発費 資産化	収益認識 変更	その他	営業利益 IFRS
精機事業	510	▲388	+8	-	-	+1	+4	134
映像事業	277	▲117	+8	+0	-	-	+2	171
インストルメンツ 事業	3	▲3	+3	+7	+1	-	+0	12
メディカル事業	▲45	▲2	+0	+19	+13	-	▲1	▲15
その他	▲236	▲68	+9	-	-	-	+0	▲290
全社	509	▲578	+28	+27	+14	+1	+6	7

# 2017年3月期の日本基準とIFRSの比較（全社当期利益）



注：のれん非償却は税効果会計の対象外のため、営業利益と影響額が同額



*Nikon* (th)  
*100*  
*anniversary*

**NIKON CORPORATION**